














| 病日 月日 | 手術前日 / | 手術当日（術前） / | 手術当日（術後） / |
|----------|---|---|--|
| 観察 | 身体の状態（かぜ症状など） 手術部位の皮膚の観察をします。 | | 発熱、血圧の変動、水分量、尿量、出血量などを確認します。 手術後の傷口の状態を観察します。 ※場合によっては術前に用意した輸血を使用します。 |
| 安静 | 制限はありません。   | | 痛みにあわせてベッドは90°まで起こせます。  |
| | | | 横向きになりたい時は、看護師の介助で横向きになることができます。 |
| 食事 | 飲食時間の制限があります。 飲食時間の制限について看護師が説明します。 指示をされた時間以降、食事・飲水はできません。  | | 麻酔覚醒後より、飲水できます。飲水後、気分不快がなければ手術当日の夕食から食えることができます。  |
| 清潔 | シャワー浴をします。  | | |
| 排泄 | 3日間排便がない場合、洗腸をします。 |  | 術中から排尿の管が入ります。全身状態が落ち着いたら排尿の管は抜きます。 車椅子に乗れるまではベッド上で排泄します。 |
| 処置 | | | 手術後に車椅子に乗れるようになるまで、心電図モニターを装着します。 |
| | | | 深部静脈血栓予防のため、弾性ストッキングを履き、足に機械を装着します。また、麻酔が覚めるまで、看護師が定期的に足首を動かします。 |
| リハビリ | 理学療法士による術前評価があります。 | | |
| 検査 | 医師の指示で、採血、下肢のエコー検査、CT検査を行います。 | | |
| 薬物療法 | 入院時に内服薬の確認をします。  | | 痛みや吐き気に対して、必要時、薬を使うことができます。  |
| | 手術前日、希望があれば、眠剤の内服をすることができます。 | | 手術当日と翌日は、点滴で補液します。 1日目の食事が食べられれば終了となります。  |
| | | | 術後抗生剤の点滴を1日目までします（朝・夕）。 2日目からは抗生剤の内服をします（毎食後）。  |
| 説明 | 入院生活について説明します。 入院前の家屋状況や過ごし方について看護師が尋ねます。 看護師が術前オリエンテーションを行います。  | | |
| 指導 | 入院後、薬剤師が薬について説明します。  | | |
| 目標 | 手術内容、手術後の生活が理解できる手術の内容、術後の生活が理解できる。 全身状態を整えて手術を迎えることができる。 | | 合併症（腓骨神経麻痺、深部静脈血栓、褥瘡、感染など）をおこさない。 体動制限や痛みによる苦痛の緩和を図ることができる。 |

症状、経過によってスケジュールが異なる場合もあります